

第4回泉大津市教育振興基本計画策定委員会
議事録

日時 : 平成28年2月15日(月) 19:00~20:00

場所 : 泉大津市役所 3階 301会議室

出席委員 : 12名

藤村委員長、吉美委員、早野委員、石橋委員、加藤委員、木村委員、
車谷委員、相委員、渡辺委員、座古委員、伊藤委員、山中委員

事務局 富田教育長、小川教育部長、丸山教育部参事、東山教育総務課長、
向井指導課長、木村教育総務課長補佐、藤田教育総務課総務係長、
山下教育総務課保健給食係員

欠席委員 : 岡崎副委員長、花野委員、金澤委員(3名)

◎委員長 □副委員長 ○委員 ●事務局 ■教育長

1. 開会

●事務局

ただ今より、第4回泉大津市教育振興基本計画策定委員会を開催する。本日は15名中12名の委員にご出席いただき、本会議は成立していることをご報告する。前回同様、本委員会の会議録の概要はホームページで公開するので、予めご了承願います。また正確な会議録作成のため録音することも、併せてご了承願います。それでは委員長に議事進行をお願いする。

2. 議事

(1) パブリックコメントの結果報告について

◎委員長

本日は最終の委員会である。まず、素案についてのパブリックコメントの結果について、事務局から報告をお願いする。

●事務局

資料1「泉大津市教育振興基本計画(素案)に対するパブリックコメントの結果について」(報告:省略)

◎委員長

この期間に素案を公開して意見を求め、考え方を回答したという状況である。パブリックコメントの内容については、計画への賛同を前提とした補強意見

であると思われる。事務局からの回答についても了解したいと思う。

一点、感想であるが、「いじめの問題はすべての子どもに起こりうる問題」という文言についての意見がある。文部科学省の方針や法律にも書かれているが、これは教員への呼びかけの趣旨もあり、いじめがあるかもしれないという目で、クラスの子ども達をしっかりと見て欲しいという意味として受け取る必要があると思う。

では、パブリックコメントについては、ご了承いただいたということで、次に進みたいと思う。

(2) 泉大津市教育振興基本計画（案）（答申案）について

●事務局

パブリックコメントで計画内容を変更・修正する箇所は無かったが、若干、文言の修正を行っている箇所があるので、その一覧を表にしている。いずれも、表現の中で現在形を過去形にしたり、計画の名称で泉大津市を付け加えたという内容で、本文の趣旨が変わるものではないので、後ほど、ご確認いただければと思う。

資料2 「泉大津市教育振興基本計画（案）答申（案）」（説明：省略）

◎委員長

項目に沿って概要を説明していただいた。前回素案を承認いただいております、パブリックコメントも修正を要する意見はなかったことから、基本的にはこの答申案をもって、正式な答申としていきたいと思うが、よろしいか。ついては、答申の提出は、私に一任していただいてもよいか。

（異議なし）

では、これについては、策定委員会の答申として扱ってきたいと思う。後の取扱いについては、私に一任いただき、改めて、教育委員会へ提出したいと考えている。

それでは、委員会も本日が最終回なので、これまで本計画(案)の策定に関わっていただいた感想、また、この計画を踏まえ、それぞれの立場での今後の取り組み等、皆さんに一言ずつ発言をいただきたいと思う。

○委員

泉大津の就学前教育は、幼稚園、保育所、認定こども園において、ゼロ歳から5歳まで一貫した教育課程に基づいて実施していこうと、ここ3～4年で大きく変わっている。保幼小体系プログラムにも、両方の職員が参加している。教育委員会が中心となって、研修の部分を担当いただいているのは、とても

ありがたい。学びの連続性、学びの輪を繋げていくためにも、私たちは就学前教育の充実に向けて、しっかりと学んでいかなければならないと思った。

○委員

教育振興基本計画案を見て、本当に良いものができたという気持ちで一杯である。この計画ができるにあたって、いろいろなアンケート調査、現在の子どもの様子や市全体の様子をしっかりと踏まえて、それを分析・検証した部分と、教職員がワークショップに参加し忌憚のない意見を述べたと聞いており、そのような教育現場の声を直に吸い上げて、この計画が練られたということは、非常に実のある計画になっているのではないだろうか。あとは、この計画を基に実行していくことが大事だと思う。

○委員

今回、策定していく中で、児童・生徒、保護者、市民、教職員アンケートを行っていただき、また、ワークショップも意義が大きいものだったと感じている。非常に実のあるワークショップだったと思う。この内容を、学校でしっかりと共有し、学校現場が率先してこの計画に沿って学校教育を進めていくという視点に立っていければと思う。

○委員

これだけの多岐にわたる計画を作るにあたり、膨大な時間と労力と調整をかけられたことに敬意を表す。

これはプランであり、次は実行、チェックの取組みになってくるが、チェックについては、学校現場や市民の気持ちが現場で理解できるようなチェックにしていきたいと思う。その理解があつてこそ、現場でのさらなる取組みに繋がると思う。是非、現場に則した、現場が理解できるようなチェックをしていただき、さらなる取組みで、9年後またさらに進んだ計画を作られて前進していかれることを期待する。

○委員

とてもよく分かる内容になったと思う。課題・方針、主な取組み、重点目標があり、誰が見ても分かりやすい。

9年間の計画なので、どこかで見直しがあると思うが、数値目標をどのように点検するのかという手法について、今後検討し進めていかれるかと思う。非常に丁寧に市の現状にふさわしい内容に作られて、これがますます目に見えた形に表れることをお祈り申し上げます。

○委員

私はまさしく子育て世代で、私達親世代には不安があり、どのような教育方針なのかなどをホームページで調べたりするが、なかなか分からないことも多い。これだけのしっかりしたものがあれば、安心できるのではないかと思う。

○委員

本当に良いものを作ってください、何年度には何をするかという案を見せていただき、助かる。地域活動でも、大学生のボランティアが来てくれると子どもも喜んで参加してくれる。お祭りなど若い世代がどんどん交流に参加してくれると、このような目標も達成できるのではないかと思う。

○委員

60ページに「地域とともに総合型地域スポーツクラブの創設をめざします」とあるが、現在、スポーツ関係団体の代表者が集まり、総合型スポーツクラブ立ち上げの会議を行っている。スポーツ振興に関わる課題や問題点を共有することにより、解決に向けた議論を行い、今後の設立に向けた検討を重ねているところである。

○委員

計画策定に参加させてもらったことに感謝する。アンケート調査やワークショップ、パブリックコメントなどの調査した結果をもとにして計画が立てられていることは素晴らしいと思う。

一番気になるのは、教育振興基本計画に基づき素晴らしい教育を行うために、先生方がゆとりを持てるような人員配置をお願いしたい。先生が余裕を持って、子どもと関わり、この計画に沿って進めて行ければ、9年後にはこの成果がどれだけ出るか楽しみである。

○委員

このようなきめ細かく盛りだくさんの内容で、素晴らしい計画案になったと思う。家庭の教育力の低下が一番気になるが、今後9年間の計画の中で、できることから少しずつでも、何かさせていただければと思う。

◎委員長

全ての立場からご意見をいただいた。現場の声を吸い上げながらなど、期待を込めて皆さんからお褒めいただいていると思った。

○委員

この計画について最初に話をお聞きした時、構想としては、市民や教職員などそれぞれ教育を担っている人の意見をまず吸い上げたいということであった。しかし、それは理想だが、行うのは非常に大変ではないかと私も当初は心配した。しかし、教職員ワークショップに出席し、事務局が素案を練られている時にお話も一緒にし、各委員の先生方と一緒にこのような計画の作り方ができたこと、そして、委員会がこのような形にしたいという強い思いを持ってこの形になったことは、すごく実りがあったと思う。どの委員もおっしゃっていたように、計画は良くできたが、問題はこれからではないかと思う。

計画を市民に知らせていくためには、これを簡略化して、1枚ものでPRできるような概要をつくり、泉大津市に住む人も働く人も、どの人が見ても、こんな方向に進むんだなということが簡単に理解できるようなもので、アピールできればよいと思う。

指標については、事務局で上手く活用しながらこの計画の点検チェックをしていただきたいと思う。

それぞれの委員が活躍されている協会や団体のなかで、人がどう繋がってどう動いていくか、この計画が刺激となれば、泉大津市の教育全体が良くなるのではと思う。

◎委員長

最後になりましたが、三点お願いがある。まずは、実行力を持って計画を進めていただきたいと思う。この計画が出ると、市民や関係者の方々が非常に期待を寄せられる。この委員会でも、たくさん期待を出されて、あとは実行あるのみと考えられている。特に重点施策として打ち出していることは、やる気のある所だと受け止めている。

二点目として、私たちの町の計画ということを受け止め、泉大津市民の皆さんと意識が共有できるよう、十分に市民に浸透させていただきたいと思う。

三点目は、進行管理、チェックのことである。これから9年間で事務局や現場の人も変わり、9年後に国や泉大津市がどのようになっているか分からない厳しい状況の中で、着実に見直しを行いながら進行管理をしていくことが大切である。

それでは、これもちまして、議事を終了する。

3. 閉会

●事務局

それでは最後に教育長からご挨拶申し上げます。

■教育長

4回にわたり、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。当初は3回の予定だったが、4回になった。お褒めをたくさんいただいたが、とにかく泉大津市の実態に合わせたもの、市民の声、現場の声をできるだけ汲み上げるようにと努力をしたつもりである。アンケート調査などのデータを踏まえながら、この課題についてはこのような取り組みが必要だという認識で取り組んできたが、これをどのように実現していくかが重要と考えている。

昨年12月に市長と教育委員会とで意見交換を行い、1月に第1回総合教育会議という法定会議を公開で行った。今回の法改正で市長が教育大綱を作成するので、我々が大事にしたい理念について、市長との間でかなり議論を行った。

市長と我々の意見は大筋一致しており、今回我々が策定した教育振興基本計画を、市長が策定する教育大綱の基としたいと考えている。おそらく次年度の初めあたりに、教育大綱について直接議論が行われる予定で、このようなデータを見てこのような方向性で進みたいという話をしたいと考えている。

もう一点は、現場の先生方のご意見をいただいた。今回ワークショップに参加していただいた、現場のミドルリーダーの先生方と一緒に進捗管理をすることで、各現場の実行力に繋がるのではないかとイメージしている。

教育委員会事務局も少人数のメンバーで、今後も不十分なこともあるかと思うが、精一杯やっていきたいと思う。

有意義なご意見をたくさん頂戴し、感謝申し上げます。各委員の皆さまから多方面のご意見をいただき、一定の形になったと思う。いろいろ不行き届きなところもあったかと思うが、今後も応援していただくことをお願いし、挨拶とする。

●事務局

以上をもちまして、第4回泉大津市教育振興基本計画策定委員会を閉会する。